

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ケアステーション魚沼		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 22日		～ R8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R7年 12月 22日		～ R7年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士各職種が専門性を活かして重症心身障害児に必要な療育活動を提供している。	・地域や療育園の研修に参加しスキルアップに努めている。また伝達研修を行い、職員により支援の差が生じない様に共有している。	・常勤している保育士、看護師、介護福祉士以外に理学療法士、作業療法士との情報共有、連携により支援方法や療育活動の充実を図っていく。
2	・職員とご家族の関係が良好	・懇談会やCS行事(事業所行事)等の機会にご家族と職員、ご家族同士のつながりの場を設けている。 ・職員が明るく話しやすい雰囲気を作り努めている。 ・送迎時ご家族と話す機会が多いためご家族に安心して話をしてもらえる様な環境を心がけている。	・ご家族との会話の内容をきちんと職員全体に伝え共有していく。 ・ご家族が職員に話しやすい雰囲気を持ち続けられる様に、今後も距離感を大切に節度をもった対応に努めていく。
3	・他事業利用者との交流ができる。	・他の利用者との交流がもてる ・職員の目が通りやすく安全に過ごすことができる。 ・集合活動で他の人の表情や声を聞くことができる	・職員を介して他の利用者との交流を深められるように工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	感染予防を図ることが難しい。	・法律に定められている以上の広さは確保されているが必要な備品を揃えると狭く感じる。 ・体調不良者が個室対応できるスペースがない。	・整理整頓を心がけスペース確保に努める。 ・体調不良者はご家族の迎えまで事務室のスペースに移動し過ごしていただく等工夫している。
2	重症心身障害児支援に関して経験が浅い職員もいる。	・魚沼市周辺の現地採用を行っているため重症心身障害児支援の経験が少ない職員が増えている。	・療育園と連携して研修や勉強会に参加してスキルアップを図っている。 ・療育園で長く重症心身障害児支援を行ってきた職員が勉強会を実施して全体的に向上できる様に努める。
3	地域の子どもと交流する機会がない。	・医療的ケア児が多く、出かけていくのが難しい。 ・スペースが狭く来てもらうのが難しい。	・中学生のボランティアスクールの受け入れを開始している。 ・可能な交流など検討していきたい。